

# Q&A

## 腹痛を契機に診断された巨大腹部腫瘍

### 【問題】

患者：49歳，女性。

主訴：腹痛。

既往歴：未治療の糖尿病。

現病歴：激しい上腹部痛を認め，CTで肝内に巨大な嚢胞性腫瘍を指摘され，紹介入院となった。

身体所見：身長156cm，体重67kg，血圧130/72mmHg，体温36.6℃，腹部は膨隆し，心窩部から上腹部に圧痛あり。

血液検査：WBC 14530/ $\mu$ L，CRP 3.39mg/dL，

T-Bil 1.3mg/dL，ALP 913U/L， $\gamma$  GTP 518U/L，ALT 214U/L，AST 420U/L，HbA1c 11.6%。

画像検査（腹部造影CT）：肝左葉全域から右葉にかけて18cm大の多房性の嚢胞性腫瘍を認め，内部には造影効果を認める腫瘍性構造を認めた（Figure 1）。

### 診断は？

解答は日本消化器病学会雑誌110巻8号をご覧ください。

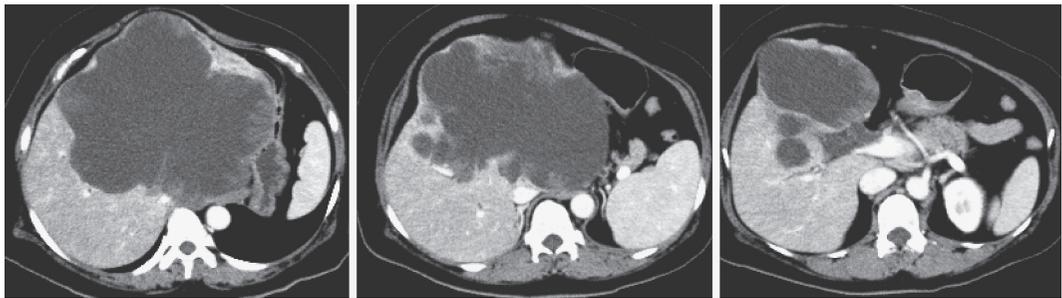


Figure 1. 腹部造影CT（動脈相）。